

報道機関各位

2008年8月4日
 広島大学・立命館大学

広島大学と立命館大学協力協定の締結について

—「平和教育・研究」に取り組む両大学の連携—

広島大学（学長：浅原利正）と立命館大学（学長：川口清史）は、両大学の関係を密にし、「平和研究・教育」を中心とした諸分野での連携や文化的交流を深めることを目的として、「広島大学と立命館大学との協力協定」を本日締結します。

本協定を契機として、両大学が一層密接に連携協力し、「世界へ発信する平和の研究拠点づくり」・「平和分野における高度人材育成」を推進してまいります。

（1）協力協定締結の背景（資料P.3）

両大学は、それぞれの建学の精神や理念に共通の精神を掲げ、教育・研究に取り組んでおります。協力協定締結の背景には、自由と平和を重んじる両大学共通の精神があります。

広島大学

建学の精神：自由で平和な一つの大学
 理念5原則：平和を希求する精神
 新たなる知の創造
 豊かな人間性を培う教育
 地域社会・国際社会との共存
 絶えざる自己変革

立命館大学

建学の精神：自由と清新
 教学理念：平和と民主主義

両大学データ

	広島大学	立命館大学
学生数	学部生：11,077人 大学院生：4,513人	学部生：33,013人 大学院生：3,302人
設置形態	国立大学	私立大学 (創始者：中川小十郎)
設置年	1949年	1900年
学部・研究科	11学部、12研究科	12学部、15研究科

(2) 両大学の概要・「平和」への取り組み (資料P. 4-10)

建学精神や理念に沿って、両大学は平和への取り組み（「平和教育」「平和研究」）を積極的に進めてまいりました。「世界へ発信する平和学研究拠点づくり」・「平和分野における高度人材育成」に取り組む両大学が、今回の協力協定を締結し、今後更なる平和への取り組みを推進していく意義は大きいと考えています。

広島大学

【概要 (資料P. 4)】

新制国立大学として創設

(母体として広島文理科大学、広島高等師範学校など7校包括、1校併合)

初代学長 森戸辰男

学部生数：11,077名、大学院生数：4,513名

11学部 12研究科 1専攻科

11附属学校 1病院 (2008年5月1日現在)

【国際化についての取り組み】

世界トップレベルの特色ある総合研究大学を目指す。

平和科学研究センター (1975年)、留学生センター (1990年)、国際協力研究科 (1994年)、教育開発国際協力研究センター (1997年)、北京研究センター (2002年) を設置するなど、研究、教育等の国際化を推進。

2005年に文部科学省「国際戦略本部強化事業」採択。広島大学の「新」国際戦略を策定。世界26カ国96大学・機関と大学間協定、37カ国133の部局間協定、5ヶ所の海外拠点 (2008年5月1日)

【平和への取り組み (資料P. 5-6)】

◆「平和研究」世界へ発信する平和学の拠点づくり◆

- ① 平和科学研究センターにおける平和に関する研究教育の展開 (昭和50年設置。我が国最初の平和学に関する学術的研究機関)
- ② ノーベル平和賞受賞者による平和講演会の開催 (2006年度～)
- ③ ストックホルム国際平和研究所 (SIPRI) が刊行した「SIPRI年鑑2006 軍備、軍縮及び世界の安全保障」の日本語翻訳版の刊行、「SIPRI年鑑2007 軍備、軍縮及び世界の安全保障 日本語要約版」の刊行
- ④ 連携融合事業「平和構築に向けた社会的能力の形成と国際協力のあり方に関する調査研究」の実施 (2005年度～2007年度)

◆「平和教育」平和分野における高度人材育成◆

- ① 平和構築分野の人材育成のためのパイロット事業 (外務省委託事業) の実施 (2007年度～)
- ② 広島平和記念資料館を始めとした平和に関するモニュメントの見学実習及びレポート提出 (2008年度新入生から実施)
- ③ 新たな平和に関する授業科目の開設及び必修化に向けた検討 (2009年度入学生から実施予定)
- ④ 平和に関する授業アイデア募集の検討 (2008年度開始予定)

立命館大学

【概要（資料 P. 7）】

1869年 西園寺公望（学祖）私塾「立命館」を創始
1900年 中川小十郎「私立京都法政学校」を創設
学部生数：33,013名 大学院生数：3,302名
12学部 15研究科（2008年5月1日現在）

【立命館学園】

2大学 4附属高等学校 4附属中学校 1附属小学校
世界56カ国・地域、339大学・機関と結ぶ、国際ネットワークを構築

【国際化についての取り組み】

1988年 国際関係学部設置
1992年 国際平和ミュージアム設置、国際関係研究科設置
2000年 立命館アジア太平洋大学（APU）開設
（世界81カ国・地域から約2,600名の国際学生が集まり、教員も約半数が外国籍という「マルチカルチュラル・コミュニティ」）

【立命館学園中期計画（2007年度-2010年度）】

「世界に開かれたアジア太平洋地域の教育・研究拠点へ」

- ・21世紀のグローバル時代を担う人材育成
- ・社会に支えられた学園づくり
- ・世界水準の研究成果の創出

【これまでの国内大学との連携】

滋賀医科大学（2002年度～）、京都府立医科大学（2005年度～）、関西医科大学（2007年度～）、京都大学（2007年度～）、山形大学（2008年度～）

【平和への取り組み（資料 P. 8-10）】

◆「平和ミュージアム」世界初の大学立平和博物館の開設◆

① 国際平和ミュージアム（1992年設立）

「世界平和」を築くために、平和創造の面において大学が果たすべき社会的責任を自覚し、平和創造の主体者を育むために設立

展示数613点（2008年8月1日現在：常設展示品、写真は除く）

② 第6回国際平和博物館会議開催 参考資料①

【期間】2008年10月6日（月）～10日（金）

【テーマ】平和創造の空間としての平和博物館

～地球的問題解決のためのピース・リテラシーの構築を目指して～

【主催】第6回国際平和博物館会議組織委員会

【共催】立命館大学・国際平和ミュージアム、京都造形芸術大学、広島平和記念資料館、東北芸術工科大学、立命館アジア太平洋大学

◆「世界大学生平和サミット」開催（1995年）◆

【実施時期】1995年12月4日～6日

【参加学生】<世界>36カ国1地域55大学92名
<日本>45大学389名

【呼びかけ人代表】大南正瑛（元立命館大学学長 学校法人立命館名誉役員）
「世界大学生平和サミット声明

（The Statement of the World University Students' Peace Summit）」発表 参考資料②

【学生サミット開催実績】

- ・世界学生サミット（2002年10月29日～31日 立命館アジア太平洋大学）
- ・世界学生平和フォーラム（2002年11月1日～3日 立命館大学）
- ・世界観光学生サミット（2005年11月8日～15日 立命館アジア太平洋大学）

◆「平和研究」世界へ発信する平和学の拠点づくり◆

- ① 紛争和解学研究の立ち上げ 参考資料③
- ② ノーベル平和賞受賞者による講演会開催
- ③ 紀要発行「立命館平和研究（立命館国際平和ミュージアム紀要）」

【国際平和ミュージアムの紀要発刊の意義】

国際平和ミュージアムの紀要は、世界唯一の大学立の平和博物館としての性格を反映しています。具体的には、立命館学園の平和教育実践の成果や、西日本平和研究機関ネットワークとの共同関係を含めて、平和研究面での成果を反映したものとしての学術的水準を追求することが期待され、また、査読体制の充実を含めてその方向を目指しつつあります。

立命館大学と広島大学の平和研究面での共同が進展していくことで、この紀要は、その成果を反映する学術情報媒体としての性格を一層充実させていくことになると思います。

◆「平和教育」平和分野における高度人材育成◆

- ① 平和研究科目の開設
「平和構築と予防外交研究」「平和学研究」「地球市民と平和」など
- ② 平和研究分野の専門家を客員教授として招聘
- ③ 平和関連フィールドワークの実施（1995年～）
「国際平和交流セミナー」（広島、長崎、大韓民国、中華人民共和国などを学生が訪問）

(3) 広島大学と立命館大学の連携の意義と今後の取り組み（資料P. 11-12）

【意義】

「世界へ発信する平和の研究拠点づくり」
「平和分野における高度人材育成」

【今後の取り組みについて】

- ① INU ダブル・ディグリー・プログラム（2008年度後期～）
- ② 単位互換制度（2009年度～）
- ③ 学生交流（2008年度後期～）

(4) 両大学のこれまでの取り組み (資料P.13-14)

これまでも両大学は、連携して事業を推進してまいりました。

【①INUを通じた交流】

両大学は、共に INU (International Network of Universities:国際大学ネットワーク) (※1) に加盟し、これまで同ネットワークを通じた交流を行ってきています。

【②文部科学省「先端的国際連携支援プログラム」に共同申請】

昨年度、文部科学省の平成 19 年度大学教育の国際化推進プログラム (先端的国際連携支援) (※2) に、両大学で共同申請した「平和学共同修士プログラムの開発・国際展開ー国際的
大学間ネットワークを活用してー」が採択されました (平成 19~21 年度)。

この取組は、両大学が国内共同体制を構築し INU の海外加盟大学と連携することにより、平和研究分野での共同修士プログラムを新たに開発し提供するものです。これによって学生は、広島大学または立命館大学と海外の INU 加盟大学から合計で 2 つの修士学位を、最短一年間の海外留学により取得できることとなります。

(5) 更なる連携協力に向けて (資料P.15-19)

【①INU加盟大学とのダブル・ディグリープログラムの開発 (2008 年度後期~)】

上記プログラムは、『地球市民と平和』に関連する分野で、広島大学または立命館大学と海外の INU 加盟大学それぞれの修士学位を、最短一年間の海外留学により取得できるプログラムです。日本の大学と海外の大学から二つの修士学位を取得できることから、ダブル・ディグリーと呼称するわけです。

現在、以下の INU 海外加盟大学と、上記プログラム実施のための協定を締結又は締結のための協議を進めており、本年度、第 1 期目となる学生を募集し派遣する予定です。

【2008 年度中に協定を締結予定の大学】

キョンヒ大学 (大韓民国) (※広島大学は締結済)
フリンダース大学 (オーストラリア)
マルメ大学 (スウェーデン)
レスター大学 (イギリス)

【②両大学大学院における単位互換の実施 (2009 年度~)】

本協定に基づき、両大学大学院の単位互換に関する覚書を締結することにより、大学院生が、相手大学大学院の授業科目を履修し単位修得することを認め、大学院生の交流を推進します。広島大学大学院社会科学研究科、国際協力研究科、教育学研究科と、立命館大学大学院国際関係研究科の間で、これを実施する予定です。両大学が平和関連科目を含め、開講科目を開放します。

また、両大学大学院が共同してセミナーやフィールドスタディー等を実施することにより、大学院レベルでの交流促進が期待できます。

【広島大学開講 平和研究関連科目】

- ・ 戦争と平和の国際法
- ・ 国際機構論
- ・ 国際人権法 など

【立命館大学開講 主な平和研究関連科目】

- ・ 平和構築と予防外交研究
- ・ 平和学研究
- ・ 地球市民と平和 など

【③学生交流】
◆「平和」に関する INU 学生セミナーの開催 (2006 年度～) ◆

INU 加盟大学の学生に対し、著名なゲストスピーカーとのディスカッションやワークショップ等を通じて、「地球市民と平和」について考え討議する機会を提供

上記セミナーは、INU加盟大学の学生に対し、著名なゲストスピーカーとのディスカッションやワークショップ等を通じて、『地球市民と平和』について考え討議する機会を提供することを目的として、2006年から毎年8月に、海外からの参加者を含め約80名の学生・教職員の参加を得て広島大学で開催しているものです。

本年は8月5日から10日まで、広島市内や広島大学東広島キャンパスで、平和について討議する「2008年 INU 学生セミナー」を開催します。この度は、ノーベル平和賞を受賞したパグウォッシュ会議の現会長であるジャヤンタ・ダナパラ氏による基調講演、UNITAR 広島事務所長のナスリン・アジミ氏による講演のほか、広島平和記念資料館の見学、平和記念式典への参列、被爆者の方による体験講話などが行われ、最終日には、核兵器は国際法上非合法かというテーマで模擬国連総会を行います。

INU学生セミナー参加人数(名)

開催年	広島大学	立命館大学	海外の大学	計
2006	47	1	17	65
2007	33	3	23	59
2008(予定)	49	4	16	69

広島大学と立命館大学は、上記セミナーの開催において、今後さらに連携協力を推進していきます。

【本件に関するお問い合わせ先】

- ・ 広島大学学術室国際企画連携グループ
 吉住 電話：082-424-6041
 携帯：080-3958-9837
- ・ 立命館大学広報課
 青木 電話：075-813-8300
 携帯：090-8534-6942

※1 INU (International Network of Universities : 国際大学ネットワーク) について

INU は、学生や教職員の交流、遠隔授業の開発・実施、大学経営に関する情報交換などを目的に、オーストラリアのラ・トローブ大学オズボーン前学長が提唱して 1999 年に設置され、2008 年 7 月 1 日現在、9 カ国 11 大学が加盟しています。

広島大学は 2000 年に加盟し、2003 年からは理事校に任命されました。年次総会や理事会の他、様々な教育研究に関するワークショップを通して、加盟大学間の情報・意見交換などを行っており、INU での活動は、大学の重要な国際戦略の柱の一つとなっています。

【加盟大学】

- ブタペスト工科経済大学 (ハンガリー)
- マルメ大学 (スウェーデン)
- サクロクオーレ・カトリック大学 (イタリア)
- レスター大学 (イギリス)
- ジェームス・マディソン大学 (アメリカ)
- ラ・トローブ大学 (オーストラリア)
- フリンダース大学 (オーストラリア)
- パラヤンガン・カトリック大学 (インドネシア)
- キョンヒ大学 (大韓民国)
- 広島大学 (日本)
- 立命館大学 (日本)

※2 大学教育の『国際化推進プログラム (先端的国際連携支援)』について

大学等が行う「海外の大学との交流実績等を生かし、海外の複数の大学等と連携し、ダブル・ディグリーなどの複数学位プログラムをはじめとする国際的な共同プログラムを実施する等、知のネットワーク化に資することができ、我が国の高等教育を国際的な水準に引き上げる先端的な国際連携を図る取組」のうち、特に優れた取組を選定し、財政支援を行うことで、我が国の高等教育の国際化の一層の促進及び国際的な魅力の向上を図ることを目的とする事業です。
(平成 19 年度採択状況 51 件申請/採択 6 件)